

一般質問



渋川市の基本施策とビジョン

池田 祐輔 議員

質問 国では急速な少子高齢化や人口減少に歯止めをかけ、東京圏への過度の人口集中を是正すべく「まち・ひと・しごと創生法」を制定した。本市の「地方創生総合戦略」の策定において、中核となるであろう特色あるいは強みとなる事業・分野とは。

企画部長 県内他市と比較すると、第一次産業と第三次産業の割合が高く、第一次産業のほとんどは農業従事者です。また、第三次産業では宿泊業等が県内他市の中で最も高い割合から、農業や宿泊業等

を踏まえた観光業を活用した施策展開が有効と考えます。

質問 平成30年度からの次期総合計画の策定について、法的な策定義務はなくなったが、本市での策定予定は。

企画部長 総合計画は、総合的かつ計画的な行政運営の指針、またまちづくりの長期的展望を示すものとして必要です。策定することについては、議会の議決を経ることが適正と考えており、基本構想の策定にかかわる条例を制定し、これに基づき策定したいと考えます。

質問 現在、教育振興大綱の策定に向けた協議を行っているが、次世代の子どもたちのために、教育委員会以外にも広く一般の方の参加がこれからは必要と考える。本市の意向は。

企画部長 大綱策定の協議は、総合教育会議で行っています。この構成は、法律で市長と教育委員会となっていて、一般の方の参加は考えていません。必要に応じて出席させることはできます。



イベントについて

今成 信司 議員

質問 各イベントの成果と評価、今後の展開は。また行う目的は。

商工観光部長 お祭り等は、地域の一体感の醸成、地域経済の活性化等の役割を果たしています。今後は、開催目的を踏まえ、実行委員会等と調整を行いながら、開催していきたいと考えています。

質問 年号をまたいできた伝統・地域風俗を守っていくために、渋川山車まつりを今以上に市をあげて応援していく考えはあるか。

商工観光部長 地域活性化と交流人口の拡大等には欠かせないものでありますので、市としても大切にしていきたいと考えています。

職員動向と採用について
質問 現在の職員及び臨時職員の市内・市外居住者数。また、市民で市外勤務公務員数は。

総務部長 正職員は市内663人、市外236人、臨時職員は市内509人、市外78人です。また直近国勢調査における、市民で本市職員以外の公務員数は592人です。
質問 市外に居住する職員及び臨時職員に市内に住んでもらいたいが見解は。

時職員に市内に住んでもらいたいが見解は。

総務部長 緊急時対応などにあたり、職員の居住地がどこであるかに関わらず、支障がでることのない体制づくりに努めています。

質問 今後の職員採用基準で、渋川をより愛する方や、盛り上げてくれる人を採用していく考えはあるか。

総務部長 現在も作文試験や面接試験で受験者の渋川に対する「思い」や仕事に対する「熱意」など、さまざまなことを確認しています。



渋川山車まつり



渋川市の人口推計

一般質問



鉄鋼スラグが入った大崎緑地公園



鉄鋼スラグは産業廃棄物と認定、
急いで撤去を
角田 喜和 議員

質問 県は、大同特殊鋼の鉄鋼スラグは産業廃棄物と認定し、県警に告発しました。放置してあるスラグを早急に撤去すべきだ。

建設部長 県環境森林部の助言及び鉄鋼スラグに関する連絡会議等で最終方針が出されると思いますが、それに併せて連携した対応を取りたいと考えます。

質問 市が調査した72カ所以外に確認できたところはあるか。また放置されているスラグの総量は。

建設部長 新たに4カ所発見され

総量は72カ所で、1万4300立方メートルで、単位重量を2トと仮定すると、2万8600トとなります。

質問 撤去する場合の費用は。

建設部長 仮に処分料を1ト当たり3万円とした場合、スラグの処分料だけで、8億5800万円となります。

質問 大崎緑地公園の遊歩道部分に大量の鉄鋼スラグが埋められている。再調査の考えは。

建設部長 再調査を行ったかという点ですが、現時点では行っていません。

小・中学校の統廃合は住民合意で

質問 学校の統廃合を考えると、学校と地域が築いてきた文化の継承に問題が起こるのでは。

学校教育部長 統合される学校の特色ある教育活動が、受け入れ校でも継承されるよう支援します。

質問 経費節減だけでなく、住民合意を優先すべきでは。

学校教育部長 学校再編は、児童・生徒の教育環境を改善する観点から取り組んでいます。

請願 陳情

9月定例会では「安全保障関連法案」に関する請願が2件提出されました。議決にあたり討論が行われましたので概要を報告します。
なお、採決の結果、2件の請願とも不採択となりました。

「平和安全法制」(国際平和支援法)
海外派兵恒久法と平和安全法制
整備法…一括改定法の実質11法案
に断固として反対し、この法案を
廃案にすることを強く求める請願
(請願者) 北毛保健生活協同組合

反対

国及び国民の幸せのために、制定を期する平和安全法制関係法案を1日も早く制定させ、内外にバランスの取れた政策が実行できることを切に願うために反対。

賛成

安保関連法案が憲法違反であるという見解が多数となる中、会期を延長しても本質を変えることは不可能です。よって法案は速やかに撤回か廃案にすること、また憲法を守る立場で賛成。

反対

「安全保障関連法案」の廃案を求める請願
(請願者) 渋川勤労者協議会
憲法をくらしに生かす
渋川北群馬連絡会

賛成

今回の法案は他国防衛を禁じた憲法解釈の根底は変わっていない。平和安全法制の整備により、紛争抑止力を高め、外交力を増すことで平和的終結を目指すものであると信じるために反対。

今回の請願は内閣や国会への意見の引き上げだと思っている。市民の声を国にあげていくということも市議会の大きな使命だと思っております。おのおのの議員の考えは別にして、市民の声を政府や国会に伝える努力を願う立場として賛成。